

第8期介護保険事業計画作成のための地域分析・検討結果記入シート

活用データ名・指標名	指標ID	単位	備考	データの値											全国平均等との比較	全国平均等との乖離について理由・問題点等の考察(仮説の設定)	設定した仮説の確認・検証方法	問題を解決するための対応策(理想像でも可)		
				自保険者			都道府県平均			全国平均			比較地域(福井市)							
				H28	H29	H30	H28	H29	H30	H28	H29	H30	H28	H29					H30	
認定率	B4-a	%	見える化・時系列(各年度年報)	17.1	16.5	16.7	17.9	17.4	17.6	18.0	18.0	18.3	18.1	17.7	18.1	調整済み認定率については全国平均よりも低い。一方で、重度認定率は全国平均よりも高く、軽度認定率は全国平均よりも低い	認定調査の調査方法や介護認定審査会の合議体ごとの判断基準にばらつきがあるのではないか 認知機能や身体機能が低下している高齢者が多いのではないかと 要介護認定率に対し、サービスの利用率が低いのか	認定調査のばらつきについては、県内で最もばらつきが小さい(認定支援ネットワークによる全国平均との乖離より) 要介護1・4の割合が多くなっているが、更新申請者における前回からの変化が重度化となっている割合が全国・県平均より低く、更新申請の結果が現状維持以上となっている割合が多いほか、認知症による新規申請や要介護5→4への変更が多いこと、介護申請と事業対象者の振り分けが機能していることが考えられる(要介護認定適正化事業・業務分析データより) 認知症や身体機能低下のリスクを抱えている割合が福井市と比べて高い 認知症リスク あわら市:48.8% 坂井市:44.4% 福井市:38.4% 運動器低下リスク あわら市:14.5% 坂井市:15.2% 福井市:11.2% IADL低下リスク あわら市:7.0% 坂井市:6.2% 福井市:4.2% 認定を受けているがサービスを利用していないものは13.3%だった 認定者数 坂井地区:5,803人 福井市:13,785人 サービス利用者数 坂井地区:5,033人 福井市:11,425人 サービス利用率 坂井地区:86.7% 福井市:82.8% (リスク:介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、利用率:見える化システムより)	・重度化防止のもと、介護予防に関する取り組みの推進や特定検診・保健事業との連携を推進する ・認知症の早期発見・予防に関する施策や地域共生社会の実現に向けた取り組み、地域包括支援センターの強化等を促進する ・生きがいづくりや仲間づくりを通して社会参加や住民互助の促進を図る ・住民および企業に対する制度の理解促進を図る	
調整済み認定率	B5-a	%		15.4	14.7	14.7	15.8	15.1	15.1	17.5	17.2	17.1	16.5	15.8	15.9					
調整済み重度認定率(要介護3~5)	B6-a	%	見える化・時系列(他地域と比較)(各年度年報・H30のみ31.3月時点)	6.6	6.5	6.4	6.8	6.7	6.6	6.0	5.9	5.8	6.6	6.5	6.5					
調整済み軽度認定率(要支援1~要介護2)	B6-b	%		10.4	9.6	9.7	10.8	10.1	10.2	11.5	11.3	11.3	11.0	10.4	10.6					
				H29	H30	R1	H29	H30	R1	H29	H30	R1	H29	H30	R1			給付分析より	介護支援専門員(ケアマネジャー)対象ヒアリング実施	
受給率(施設サービス)	D2	%	見える化・時系列(H29は年報、H30はH31/2サービス提供分まで、R1は最新月分まで)	3.6	3.6	3.5	3.7	3.7	3.7	2.8	2.8	2.8	3.6	3.6	3.6	在宅サービスの受給率は全国と同等であるが、施設サービスの受給率が高い	各種主要サービスの分析については下記のとおり	(各サービス共通) ・自立支援に資するケアプラン説明会・研修の開催 ・地域ケア会議等での専門職によるケアプランの検証 ・リハビリテーション専門職との連携の強化 ・レセプトの確認・分析		
受給率(居住系サービス)	D3	%		1.1	1.2	1.2	0.9	0.9	0.9	1.2	1.3	1.3	0.9	0.9	1.0					
受給率(在宅サービス)	D4	%		9.4	9.5	9.7	10.4	10.1	10.3	9.9	9.6	9.8	10.8	10.4	10.6					
受給者1人あたり給付月額(在宅および居住系サービス)	D15-a	円	132,480	133,862	134,825	124,144	128,350	128,436	125,301	128,215	128,900	124,914	128,565	128,660						
受給者1人あたり給付月額(在宅サービス)	D15-b	円	123,271	124,742	125,873	116,580	120,524	120,549	114,918	117,543	118,093	117,336	120,505	120,525						
訪問介護	受給者1人あたり給付月額(訪問介護)	D17-a	円	43,759	44,005	44,883	42,447	45,763	46,403	61,591	67,113	68,976	39,015	44,080	45,567	給付額:全国より低い増加傾向 利用日数:全国より少なく、横ばい(微減傾向)	1日当たりの給付額は増加傾向にあるが、利用日数が横ばいとなっていることから、地区内における訪問介護事業所のマンパワーが不足しているのではないかと	・利用者のニーズに対して少ない回数しかサービスを導入できないことがほとんどである ・ニーズの多い時間帯や曜日は空きがないため、逆に事業所の空き時間を伺い、その時間をサービスとして導入することが多い ・要介護1~5における請求件数について年々減少傾向にある H29(2017) 6,173回 H30(2018) 6,234回 R01(2019) 5,971回 ・独居が増加してきたことで、利用者のニーズも増加していると感じているが、事業所について、ヘルパー自体の高齢化も進んでおり、すべてのニーズに応えることが難しくなっている ・1訪問当たりの利用時間について、全国と比べ、30分未満の利用割合が少なく、30分以上60分未満の利用割合が高くなっている ・通院乗降介助について、地区外の大病院への受診の際にヘルパーが見つからないことがある	・地域包括ケアシステムの実現に向け、在宅療養を受ける介護保険利用者の増加に対し、訪問介護に代わる在宅サービス・居住系サービス等の充実を図るほか、日常生活の身の回りのことについては住民主体の活動を活用する等選択肢の拡充を図る ・住民主体の活動に加えて、ちよこつと就労等の研修会を開催し、アクティブシニア層の取り込みを図るため、関係部署等との連携を行う	
	受給者1人あたり利用日数・回数(訪問介護)	D31-a	回	15.3	15.4	15.2	14.5	16.4	16.3	20.9	23.6	24.0	12.8	15.6	15.9					
通所介護	受給者1人あたり給付月額(通所介護)	D17-f	円	89,595	93,383	93,445	77,137	85,452	85,930	74,021	80,636	81,708	75,349	85,673	86,396	平均利用日数が多いのは、本人の意向だけでなく、同居の家族に対する御用聞きプランになっていないか 利用時間について、同居の家族等の意向により、長時間利用の割合が高いのではないかと	・同居の家族より、「日中独りにしておけない」や「デイを入れれば何とかかなる」といった声が聞かれる ・新規利用時に、通所介護のみの利用を希望される割合は、感覚として5割を超えている ・利用認定区分層について、全国よりも、要介護1・4の利用割合が多く、要介護2の割合が少ない ・【通所介護】事業所規模別の利用時間割合について、どの事業所規模においても7時間以上8時間未満の利用割合が最も多く、全体の約8割以上を占めている ・【地域密着型通所介護】利用時間について、8時間以上9時間未満の利用割合が全体の約5割と最も高く、全国(1割未満)と比較すると極端に高い	・家族や企業への制度理解の促進 ・利用者それぞれのニーズに応じた、適切な利用時間となるよう、送迎問題について関係部署等との連携を図る ・通いの場等の居場所づくりを推進する		
	受給者1人あたり利用日数・回数(通所介護)	D31-e	日	11.0	11.6	11.7	9.3	10.9	11.0	9.2	10.6	10.7	9.1	11.1	11.2					
地域密着型通所介護	受給者1人あたり給付月額(地域密着型通所介護)	D17-t	円	88,287	96,976	99,437	79,245	82,954	85,763	74,674	73,911	73,822	74,635	76,969	81,994	介護のために仕事を休んだり、やめたりすることができない家族が多く、また福井の共働きという土地柄を考慮すると、通所介護の終日利用が多いのは仕方ない部分もあるのではないかと				
	受給者1人あたり利用日数・回数(地域密着型通所介護)	D31-j	回	11.1	11.4	11.5	10.1	10.4	10.6	9.6	9.5	9.5	10.4	10.5	10.8					

活用データ名・指標名	指標ID	単位	備考	データの値											全国平均等との比較	全国平均等との乖離について理由・問題点等の考察(仮説の設定)	設定した仮説の確認・検証方法	問題を解決するための対応策(理想像でも可)							
				自保険者			都道府県平均			全国平均			比較地域(福井市)												
				H28	H29	H30	H28	H29	H30	H28	H29	H30	H28	H29					H30						
				H29	H30	R1	H29	H30	R1	H29	H30	R1	H29	H30	R1			給付分析より	介護支援専門員(ケアマネジャー)対象ヒアリング実施						
通所リハビリ	受給者1人あたり給付月額(通所リハ)	D17-g	円	見える化・時系列(H29は年報、H30はH31/2サービス提供分まで、R1は最新月分まで)	71,122	69,655	68,978	69,784	67,649	66,502	61,790	59,781	58,548	72,902	68,411	65,418	給付額:全国より高いが、減少傾向 利用日数:全国より高く、横ばい	長期的に利用している利用者だけでなく、急性期や回復期での治療を受けた利用者に対して、適切なサービス利用につながっているか	・通所リハビリへつながる主なルートとしては、医療保険上の疾患リハビリを終えた方がほとんどで、入院中にリハビリを行わないような疾患名で入院をされた方が退院後のADLが低下しているように感じても、リハビリにつながらないことがある	・地域包括ケアシステムの実現を目指し、疾患リハビリの有無にかかわらず、入院医療から在宅医療への切り替えのタイミングで、適切なアセスメントや情報連携等を通じて、より適切なサービスを提供するための体制を整える	・適切な利用につながるよう、かかりつけ医やケアマネジャー等への周知を行う	・医療・介護職による意見交換会などを開催する			
	受給者1人あたり利用日数・回数(通所リハ)	D31-f	日	見える化・時系列(H29は年報、H30はH31/2サービス提供分まで、R1は最新月分まで)	7.4	7.5	7.4	7.0	7.0	6.8	6.2	6.1	5.9	7.3	7.0	6.6							・算定回数については増加傾向にある H29(2017) 53,156回 H30(2018) 51,885回 R01(2019) 55,241回	・かかりつけ医からは専門的なりハビリの指示がもらえないこともあり、サービス利用につながらないこともある	・退院支援ルールについて、入院先の病棟の届出状況によっては、リハビリの情報が全くもらえず、看護サマリーしか情報提供がない場合がある
短期入所生活介護	受給者1人あたり給付月額(短期入所生活介護)	D17-h	円	見える化・時系列(H29は年報、H30はH31/2サービス提供分まで、R1は最新月分まで)	108,056	107,507	108,243	97,564	98,428	99,104	93,708	94,824	96,210	110,762	111,800	113,107	給付額:全国より高く、横ばい 利用日数:全国より高いが、減少傾向	・平均利用日数が多いため、緊急時の受け入れなどが困難となっていないか ・冬季(12-3月)において通常の利用についても他利用者について支障がでていないか	【緊急受け入れ加算の取得状況】 〈年度別〉 広域 H29(2017) 0.36% H30(2018) 0.53% R01(2019) 0.35% 全国 0.3%(2019.3月提供分) 〈年度別〉 【長期利用減算適用日数】 広域 H29(2017) 34.11% H30(2018) 36.95% R01(2019) 38.84% 全国 28.5%(2019.3月提供分) 〈冬季(12-3月)〉 【緊急受け入れ加算の取得状況】 広域 H29(2017) 0.70% H30(2018) 0.48% R01(2019) 0.50% 全国 0.3%(2019.3月提供分) 〈冬季(12-3月)〉 【長期利用減算適用日数】 広域 H29(2017) 31.13% H30(2018) 36.22% R01(2019) 39.15% 全国 28.5%(2019.3月提供分)	・緊急利用について、利用できるかどうかはタイミング次第であり、親戚に依頼を行ったり、地区外の事業所を探したりしたこともある ・事業所が見つからない場合は、かかりつけ医に相談して入院をさせてもらうケースもあるが、レスパイト機能をもった地域包括ケア病棟について、普段から関わりのあるかかりつけ医ならスムーズにいくが、連携が困難で入院できない場合もある	・緊急利用等に際し、契約等の事務手続きの負担軽減を図る ・緊急利用が必要になった場合に備え、各施設の利用状況を確認できる情報サイトを創設する	・短期入所生活介護事業所が見つからない場合に備え、地区内の関係団体とレスパイト入院等について連携を図る			
	受給者1人あたり利用日数・回数(短期入所生活介護)	D31-g	日	見える化・時系列(H29は年報、H30はH31/2サービス提供分まで、R1は最新月分まで)	13.2	13.1	12.9	12.1	12.2	12.1	11.5	11.6	11.7	13.7	13.8	13.9							・仮にレスパイト入院となった場合について、次に問題となるのは病院までの移動手段であり、その点からレスパイト入院を選択肢の優先順位として後回しにすることももある	・緊急利用について、普段から利用している事業所でない場合(レスパイト入院も含めて)、本人の不安感が強いことはもちろんだが、家族が利用に関する契約を行うための負担が多いと感じる	・長期利用の主な要因としては、施設の入所待ちをしていることではないかと考えるが、その現状として、複数の施設に申し込むのではなく、特定の1施設にしか申し込んでいないケースも一定数ある
	受給者1人あたり給付月額(訪問看護)	D17-c	円	見える化・時系列(H29は年報、H30はH31/2サービス提供分まで、R1は最新月分まで)	40,704	40,719	39,320	39,075	39,098	38,421	40,617	40,777	40,525	39,377	38,985	38,901							全国と比べ、利用日数が少ない	・訪問内容について、看護職員以外の訪問の占める割合が高いのではないかと ・リハビリテーションに関する専門的な知識を有する医師による定期的な医学管理が行われていない可能性があるのではないかと ・看取りに対応できる体制が整備できているか	【訪問看護からの訪問リハビリ】 看護職員以外のリハビリ3職種であるPT・OT・STによる訪問割合が6割超えとなっており、算定回数も平成29年から令和元年度にかけて約5,000回増加している(令和元年度全国平均約54%) ・訪問看護からの訪問リハビリの利用者について、訪問リハビリの利用者(月平均20人前後)の約8倍以上となっている
受給者1人あたり利用日数・回数(訪問看護)	D31-c	回	見える化・時系列(H29は年報、H30はH31/2サービス提供分まで、R1は最新月分まで)	9.3	9.6	9.2	8.2	8.2	8.0	8.6	8.7	8.7	7.6	7.7	7.7	・サービス導入検討時について、普段から訪問診療を行っているようなかかりつけ医ならよいが、そうでない場合はケアマネジャーやその他の職種が、医師が利用者の生活を具体的にイメージできるような情報提供が不可欠である	・訪問看護の利用について、土日祝日に対応してもらえない事業所もあり、利用者ニーズに応えられないことがある								
訪問リハビリ	受給者1人あたり給付月額(訪問リハ)	D17-d	円	見える化・時系列(H29は年報、H30はH31/2サービス提供分まで、R1は最新月分まで)	29,571	32,029	34,380	31,526	31,741	31,823	33,065	33,109	33,257	32,341	33,068	30,963	全国と比べ、給付額・利用日数ともに少し上回っている	利用者数が少ないのは、事業所・職員数が少ないためではないか	【看取り】について、看取りの実績のない地区内の訪問看護ステーション・看護小規模多機能型居宅介護が確認できた	・訪問看護からの訪問リハビリに比べて、訪問看護からの訪問リハビリは増加傾向	・訪問看護の利用について、土日祝日に対応してもらえない事業所もあり、利用者ニーズに応えられないことがある	・最期まで安心して暮らせる環境の整備について関係団体と連携する			
	受給者1人あたり利用日数・回数(訪問リハ)	D31-d	回	見える化・時系列(H29は年報、H30はH31/2サービス提供分まで、R1は最新月分まで)	10.3	11.2	12.2	11.1	11.1	11.2	11.3	11.4	11.4	11.3	11.5	10.7									

活用データ名・指標名	指標ID	単位	備考	データの値											全国平均等との比較	全国平均等との乖離について理由・問題点等の考察(仮説の設定)	設定した仮説の確認・検証方法	問題を解決するための対応策(理想像でも可)	
				自保険者			都道府県平均			全国平均			比較地域(福井市)						
				H28	H29	H30	H28	H29	H30	H28	H29	H30	H28	H29					H30
受給者1人あたり給付月額(介護予防支援・居宅介護支援)	D17-i	円	見える化・時系列(H29は年報、H30はH31/2サービス提供分まで、R1は最新月分まで)	12,885	12,790	12,861	11,985	12,509	12,391	12,135	12,650	12,673	11,800	12,290	12,164	<p>全国または県平均より高いもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症対応型通所介護 ・短期入所療養介護 ・看護小規模多機能型居宅介護 ・特定施設入所者生活介護 <p>全国または県平均より低いもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅療養管理指導 ・福祉用具貸与 ・訪問入浴介護 ・定期巡回・随時対応型訪問看護介護 ・認知症対応型共同生活介護 ・小規模多機能型居宅介護 	<p>・住み慣れた地域で最期まで自分らしい生活をおくるために、地域全体で支える体制が整備され、必要な介護保険サービスがそろっているか</p>	<p>【平均より給付月額が高いものについて】 (特定施設入所者生活介護) 入所者の要介護区分層を確認すると、坂井地区内において、要支援の利用が少なく、要介護5を除くほとんどの要介護度において、利用割合が全国より高い傾向となっている(要介護1については他サービス同様で、総認定者数に占める割合が全国より高いためと考えられる) <坂井地区:平成30年度> 要支援1 2.7% 要支援2 2.1% 要介護1 29.8% 要介護2 19.2% 要介護3 17.4% 要介護4 21.2% 要介護5 7.6% <全国:平成30年度> 要支援1 7.2% 要支援2 6.4% 要介護1 22.7% 要介護2 19.1% 要介護3 16.2% 要介護4 17.0% 要介護5 11.4%</p> <p>(看護小規模多機能型居宅介護) ・利用認定区分層について、要介護4・5の重度の方の利用が全国と比べて高くなっている(要介護1については他サービス同様で、総認定者数に占める割合が全国より高いためと考えられる) (平成30年度) <坂井地区:平成30年度> 要介護1 22.0% 要介護2 14.6% 要介護3 14.2% 要介護4 23.4% 要介護5 25.8% <全国:平成30年度> 要介護1 16.8% 要介護2 22.1% 要介護3 19.8% 要介護4 20.5% 要介護5 20.8%</p> <p>・一方で、看取りの実績(H29～R1年度の加算の算定状況)については、地区内4事業所のうち1事業所しか実績がなかった</p> <p>【平均より給付月額が低いものについて】 ・認知症対応型共同生活介護および小規模多機能型居宅介護について、利用認定区分層が低い傾向にあるため、給付月額が低くなっていると考えられる。また小規模多機能型居宅介護について、身体状況の悪化や新たな傷病の発生に伴い介護度が高くなると、サービス利用終了し、他サービスにつながっていることも一因と考えられる (認知症対応型共同生活介護) 坂井地区において要介護1の利用割合が全国よりも2割以上高く、要介護3～5の利用割合は31.4%で、全国(54.8%)よりも低い状況となっている <坂井地区:平成30年度> 要支援1 0.0% 要支援2 0.6% 要介護1 42.4% 要介護2 25.7% 要介護3 14.6% 要介護4 11.8% 要介護5 4.9% <全国:平成30年度> 要支援1 0.0% 要支援2 0.6% 要介護1 19.4% 要介護2 25.2% 要介護3 26.0% 要介護4 17.1% 要介護5 11.7%</p> <p>(小規模多機能型居宅介護) 坂井地区において要介護1の利用割合が全国よりも1割以上高く、要介護3～5の利用割合は29.5%で、全国(39.1%)よりも低い状況となっている <坂井地区:平成30年度> 要支援1 9.7% 要支援2 8.4% 要介護1 36.7% 要介護2 15.8% 要介護3 13.4% 要介護4 12.1% 要介護5 4.0% <全国:平成30年度> 要支援1 4.7% 要支援2 6.2% 要介護1 25.8% 要介護2 24.2% 要介護3 18.9% 要介護4 12.9% 要介護5 7.3%</p> <p>【日常生活圏域(旧町単位)における事業所の設置状況について】 認知症対応型生活介護や特定施設入所者生活介護、小規模多機能型居宅介護等については、日常生活圏域単位での整備ができていないが、以下のサービスについては整備できていない地区がある</p> <p>(訪問入浴介護) 訪問看護介護については、坂井地区内で1事業所のみであり、サービス提供地域にあわら地区は含まれていない</p> <p>(定期巡回・随時対応型訪問看護介護) 事業所がある地区は、春江地区・丸岡地区にのみであり、あわら地区・三国地区・坂井町地区には事業所がない状況となっている</p> <p>(看護小規模多機能型居宅介護) 丸岡地区のみ事業所がない状況となっている(同地区をサービス提供範囲に含めている事業所もあるが地理的に移動時間を要する)</p> <p>※全国値:厚生労働省社会保障審議会介護給付費等審議会等の資料より抜粋</p>	<p>・住み慣れた地域で最期までその人らしく生活することを支えるために、インフォーマルサービス等の地域資源の創出・確認や、関連医療機関・団体との連携を行うとともに、それぞれの地域の特徴にあったサービス(包括報酬型サービス等)の検討を行う</p> <p>・利用者の状態に合わせて居住を転々と変更するのではなく、その人の状態に応じたサービスが受けられるよう、居住系・施設系サービスにおける看取り体制等の充実を図る</p> <p>・通いの場などを通して、地域住民同士の助け合いや関係性づくりの促進を図る</p> <p>・認知症施策の推進を含めた介護予防に資する取り組みを図る</p>
受給者1人あたり給付月額(認知症対応型通所介護)	D17-o	円	見える化・時系列(H29は年報、H30はH31/2サービス提供分まで、R1は最新月分まで)	119,126	114,151	112,854	112,986	114,560	117,983	113,293	113,358	114,241	113,014	116,615	124,178				
受給者1人あたり利用日数・回数(認知症対応型通所介護)	D31-i	日	見える化・時系列(H29は年報、H30はH31/2サービス提供分まで、R1は最新月分まで)	12.1	11.5	11.4	11.4	11.5	11.6	10.7	10.7	10.7	11.6	12.0	12.3				
受給者1人あたり給付月額(短期療養介護)	D17-i	円	見える化・時系列(H29は年報、H30はH31/2サービス提供分まで、R1は最新月分まで)	78,376	84,158	82,293	73,265	73,090	76,778	83,625	85,173	85,797	78,953	72,724	81,150				
受給者1人あたり利用日数・回数(短期入所療養介護)	D31-h	日	見える化・時系列(H29は年報、H30はH31/2サービス提供分まで、R1は最新月分まで)	7.7	8.0	7.4	7.1	7.0	7.2	7.9	7.9	7.8	7.3	6.7	7.4				
受給者1人あたり給付月額(看護小規模多機能型居宅介護)	D17-s	円	見える化・時系列(H29は年報、H30はH31/2サービス提供分まで、R1は最新月分まで)	212,565	224,210	244,091	217,620	221,238	230,468	236,649	241,357	245,977	212,310	212,753	221,134				
受給者1人あたり給付月額(特定施設入所者生活介護)	D17-k	円	見える化・時系列(H29は年報、H30はH31/2サービス提供分まで、R1は最新月分まで)	180,340	179,603	181,765	177,414	177,989	178,781	174,723	174,980	176,483	176,155	175,648	176,884				
受給者1人あたり給付月額(居宅療養管理指導)	D17-e	円	見える化・時系列(H29は年報、H30はH31/2サービス提供分まで、R1は最新月分まで)	6,884	6,841	6,690	6,800	6,725	6,937	11,539	11,758	11,950	6,743	6,682	6,970				
受給者1人あたり給付月額(福祉用具貸与)	D17-j	円	見える化・時系列(H29は年報、H30はH31/2サービス提供分まで、R1は最新月分まで)	10,450	10,548	10,401	11,066	11,021	10,825	11,651	11,568	11,483	10,747	10,496	10,240				
受給者1人あたり給付月額(訪問入浴介護)	D17-b	円	見える化・時系列(H29は年報、H30はH31/2サービス提供分まで、R1は最新月分まで)	53,106	56,027	55,553	54,174	55,345	54,131	60,565	61,431	61,972	54,798	53,851	53,723				
受給者1人あたり利用日数・回数(訪問入浴介護)	D31-b	回	見える化・時系列(H29は年報、H30はH31/2サービス提供分まで、R1は最新月分まで)	4.4	4.6	4.5	4.6	4.6	4.5	5.0	5.0	5.0	4.6	4.4	4.4				
受給者1人あたり給付月額(定期巡回・随時対応型訪問看護介護)	D17-m	円	見える化・時系列(H29は年報、H30はH31/2サービス提供分まで、R1は最新月分まで)	135,263	121,753	116,971	134,307	129,695	125,537	151,052	151,129	153,667	135,420	145,499	140,193				
受給者1人あたり給付月額(認知症対応型共同生活介護)	D17-q	円	見える化・時系列(各年度3月時点、H28のみ最新月時点)	235,006	235,980	238,640	240,184	244,108	246,386	249,222	250,368	253,186	240,763	249,152	248,099				
受給者1人あたり給付月額(小規模多機能型居宅介護)	D17-p	円	見える化・時系列(H29は年報、H30はH31/2サービス提供分まで、R1は最新月分まで)	147,229	156,116	158,834	171,292	175,359	177,310	179,421	180,099	181,840	176,884	181,835	184,603				
受給者1人あたり給付月額(夜間対応型訪問介護)	D17-n	円	見える化・時系列(H29は年報、H30はH31/2サービス提供分まで、R1は最新月分まで)	0	0	0	0	0	0	34,522	34,120	35,927	0	0	0				
受給者1人あたり給付月額(地域密着型特定施設入所者生活介護)	D17-r	円	見える化・時系列(H29は年報、H30はH31/2サービス提供分まで、R1は最新月分まで)	0	0	0	0	0	0	190,973	191,237	192,308	0	0	0				